

# あの手 この手

4月号  
2020

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第153号 2020年4月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行



河津桜



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」主催のやまと国際アートフェスタ入賞作品を掲載しています。

今回のテーマは “2030年の世界とわたし”  
リフォーマル賞 受賞

題名 「空飛ぶ国」

吉田 恵万さん

深見小 4年(アメリカ合衆国)

受賞者 吉田 恵万さん からのメッセージ

わたしは、本当にあったらいいなと思う未来を  
思いがいて この絵をかきました。  
これから、どんな世界になっていくのか  
とても楽しみです。

## 大和市民活動センターの2020年度は

「共育(ともいく)」を合言葉に協働事業を進めています  
が、2004年11月創設当時の旧大和市民活動セン  
ターと2018年4月の移転後とは建物・施設など環境が  
大幅に変わりました。フリースペース内で一緒に業務や相  
談・話し合いを行う雰囲気は薄れ、事務的な受付業務が増  
えました。それに伴う“システム化”も並行して行い処理能  
力は上がっています。でも登録団体の人たちと一緒に作る  
行事やジョイントワークなど少なくなっていくのは寂しい  
感じです。「ここに来れば何かがある!」「ふらっと寄りた  
い場所」と言われた交流の場が 来館者数としては倍に増  
えた会議室利用や部室管理などに代わってきました。

2020年度は移転からの3年目、協働事業の一区切りの  
年でもあります。次期へのバトンタッチを意識して 体制  
作りにも取り組みます。組織も硬直化してくると「あれ  
はだめ、これもやめて」の意識が強くなりがちなので、  
「これはどうすれば、こうすればできる」の初心に戻る  
ことも必要です。“市民活動”は特別のものではありません。  
日頃の楽しみを分け合う、悩んでいる問題を一緒に  
考えるなど手をひろげていきましょう。「公共的活動」と  
なると、一段と堅苦しく構えがちですが、“営利・宗教・  
政治・選挙を主たる目的としない方向”で展開していけ  
ば「市民活動」なのです。そして皆さんの特技、専門知  
識を“皆の為に”活かせば「社会資源」となるのです。

拠点やまとと会長 望月 則男



## << 補助金団体特集 >>

2019年度の補助金交付団体の皆さんに補助金事業を実施した中での、良かったこと、  
嬉しかったこと、成果などコメントをお寄せいただきました。

### 大和市民に英語の楽しさを伝える事業 Story Time 川村 佳織さん

今年度初めて大和市の補助  
金事業の承認をいただいた  
Story Time です。  
英語の楽しさを大和市民  
の皆様に伝えよう!という  
コンセプトで活動していま  
す。活動費を頂いたことで、  
交通費が賄える様になり活  
動範囲を広げる事が出来ま  
した。英語絵本を紹介した  
り参加者の方々と一緒に声を出して英語絵本を読んで  
みたり、英語の歌を楽しく一緒に歌ったりする事で参  
加者の方々の沢山の笑顔に出会う事ができました。ま  
た“お家で気軽に英語を楽しむ!”という Story Time  
の活動目的も達成できました。アンケートには、家  
でもぜひやってみようと思った、家に帰ったら子供が歌  
った英語の歌を歌っていてびっくりした、声を出して  
英語を言ってみて楽しい時を過ごせた等、励みになる  
ご意見も沢山頂きました。英語を楽しみたい方々に、  
その楽しさを届けるべくこれからも笑顔で活動を続け  
ていきたいと思っております!



### 「寺社の装飾彫り物〜宮彫り」を 新しい日本の文化財・観光資源としての活動周知事業 神奈川探龍倶楽部 代表 上田 康史さん

ベテルギウスの部室利用 No.1 を自負しております「神奈  
川探龍倶楽部」です。私どもは5年近くの活動の第一段階  
が終了し、ロケットですと第二のロケットエンジン点火の  
ための起爆剤が必要でした。今回の補助金事業は非常に役  
立ち、活用したお蔭で2019年は私どもにとって飛躍的  
な1年となりました。「かながわ観光大賞特別賞」受賞。自  
主制作の映像「MIYABORI」が「文科省特選」になり、ま  
た、私どもの活動を後押しするかのよう小田急電鉄さん  
やツアー会社とのコラボ「神奈川龍めぐり」が始まりまし  
た。「継続は力なり」を実感した1年です。



新年度は、活動範囲が大和  
市を含め神奈川全域に広  
げ、また、関東一円に「神  
奈川探龍倶楽部」の名前を  
ひろめる野望が芽生え始め  
ております。

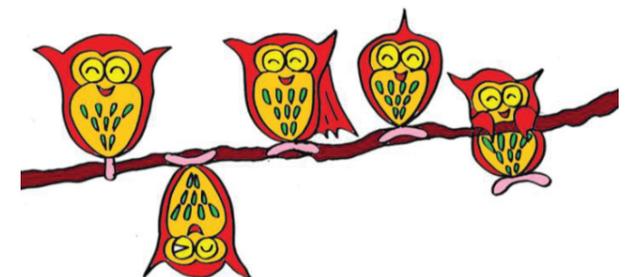
世はまさに戦国時代です。  
龍に乗って、龍の力を借り、  
次の辰年に昇り龍となり...

団体名を「関東昇龍倶楽部」に改名しようと目論んでおり  
ます。(かなりあぶない名前になってきそうです)

### 子育て中の親子(外国人を含む)の交流・相談事業 ファミリーサービスセンターやまと 会長 平田 美智子さん

2年前、「ベテルギウス」がオープンするのをきっかけに、「ファミリーサービスセンターやまと」という  
福祉・介護・保育などの専門職になるボランティア  
団体を立ち上げました。「ベテルギウス」に部室を借  
り、初年度は会員が順番に講演をする機会を持ち、  
念願だった「ノーバディズ・パーフェクト」という  
子育て中の親向けの連続講座を、保育ボランティア  
を募り、実施できました。2年目には、「はぐくみ」  
の補助金を受け、発達障がいなどの気になる子を育  
てている親子のサロンを開催することになりました。  
発達障がいの子どもの子育てに関して、以前の  
大学の同僚だった河合高鋭氏に講演してもらい、市  
内の療育教育を推進するグループの方と繋がること  
ができました。年数回の「気になる子の親子サロ  
ン」はまだ始まったばかりで、参加者も多くはありま  
せんが、少しずつでも周知されればと思っています。

また「ベテルギウス」に日常的に小学生が集まるの  
で、夏休みと冬休みに小学生イベントを開催しまし  
た。工作をしたり、お昼を作ってみんなで食べたり、  
ゲームをしたりで、10人から20人の子どもたちが集  
まってくれました。孫たちに接するような気持ちで関り  
ましたが、子どもたちの間でいじめや差別がないよう  
に注意し、食事の時のルールなども定めていきまし  
た。最初は、何の会、といった感じで参加してくれた  
子どもたちも、回を重ねるごとに、楽しみにしてくれ  
る子どもも出てきました。これからも、地域の応援団  
として子どもや親を見守りたいと思います。



やまと市民スポーツ討論会  
NPO 法人やまとスポーツマネジメント



やまとスポーツマネジメントが活動を開始して、約4年。クラブに携わる者が様々な課題を見つけ、解決に繋がるスポーツの

取り組みを実施してきました。地域に根ざしたクラブとして、更に成長をしていきたいと考え、「スポーツが好き」「大和が好き」「大和を盛り上げたい」「スポーツイベントを大和でやりたい」などのお気持ちがある市民の皆様にお集まりいただき、様々なご意見を出していただく機会として大和市民活動推進補助金を受けて「やまと市民スポーツ討論会」を企画・実施いたしました。

当日は高校生・大学生・スポーツクラブに子供を通わせている保護者の方に参加していただき熱い討論が繰り広げられました。また、参加していただいた方の中には討論会後、当クラブの活動に興味を持っていただき、実際にイベントの運営のお手伝いをしてくださった方もいます。今後も当クラブでは「スポーツに、新たな価値を。スポーツで、新たな価値を。」をモットーに市民の皆様に向けたスポーツに関するあらゆる取り組みを実施して行きたいと考えております。



第14期  
福祉たすけあい基金（スタート助成）

対象：地域の福祉課題の解決やたすけあい活動、またそれらに関連した自発的（ボランティア）な文化や活動の普及等のための活動。

助成額：総額 400 万円  
1 件当たりの助成額の上限 100 万円

説明会の日程：  
4/11(土) 10:00 新横浜オルタナティブ生活館  
4/13(月) 15:00 生活クラブ生協高津センター

個別相談日程：事前相談への参加が必須です  
5月11日(月)～5月22日(金)10時～17時(日曜除く)  
締切：5月29日(金) 17:00 必着

問合せ先：かながわ生き生き市民基金  
TEL:045-620-9044 Meil:info@lively-citizensfund.org

ホームスタート事業のための人材育成事業  
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア  
理事長 永井 圭子さん

家庭訪問型の子育て支援を必要とする親子がいることを子育て支援の活動経験を通して気づいて以来、チャイルドケアでホームスタートに取り組めないかと模索してきました。

私は夏に熊本でのオーガナイザー研修に参加しました。緊張して会場に入ったらスタッフの方々がお茶とお菓子の準備をしていました。こんな温かな雰囲気の研修会は初めてでびっくり。これがまさにイギリス発祥のホームスタートを象徴するものでした。受講生はビジター経験者がオーガナイザーになる方が多く皆それぞれに熱い思いを持って参加していることに感激しました。ちなみに関東からの参加は私一人で九州と関西人に囲まれ、関東人の標準語の肩身の狭いこと！

10月にはほやほやのオーガナイザーがホームビジターと呼ばれる訪問ボランティア向け説明会を開催し養成講座へつなぎました。説明会に参加した十数人のうち、結果8名に無事修了証を渡すことができました。養成講座はオーガナイザー研修の時と同じようにお茶とお菓子をたっぷり用意してお腹も心も満たされ、毎週1回朝10時から4時半までの8回講座は終始ほっこりと和気あいあいでした。

最初にグランドルールをみんなで出し合い毎回確認しながらビジター同士とても仲良しになって、知識も必要だけれどボランティアをしていくうえで仲間が仲良く信頼関係ができていく助け合えることが大切なんだと改めて感じました。



「センター」のある日ある時

3月19日(木) はれ

新型コロナウィルスで外出も控えての毎日。高校生から「学校が休みの間、困っているお年寄りへのお手伝いなど何かありませんか？」と電話ありました。受け入れ側も少ないことと、休校の本来の理由などから今回は一旦待機して、この状態が収まってから双方の都合をみて再度申し込むことになりました。同年代のチャランポランだった自分と比べながら その生徒のボランティア精神に感心しました。 望月 則男

3月30日(月) 曇り

家で過ごすことが増えた今日、私は新聞記事の書き写しを日課にしている。言葉を丁寧に使いたい、社会の中の一人でありたいと焦られる思いが新聞を求めてしまう。センターではこれに重なる思いで活動している。尾畑 翼



<出演しました> 録音 CD が大和市民活動センターにあります。

第368回 3/3(火) 「カットスタジオみどり」  
「NPO 法人 科学探検隊」

「カットスタジオみどり」足立原雅美さんと「NPO 法人 科学探検隊」理事 足立修一さんの出演。市内でご主人と創業67年になる老舗「カットスタジオみどり」を営み、美容師として働く傍ら地域清掃、公園トイレのWCペーパー補充を続けると共に環境サポーター委員も務め、積極的に「まちゼミ」に参加するなど地域に根ざした活動を続けている足立原さん。50年の歴史を持つ愛川町の「文章運動グループ神奈川ふだん記」にも参加し10年。問題を見逃さず、すぐに対応。生活、すなわち生きることを何よりも大切にしている足立原さん、地域に必要とされる人でありたいと語りました。

「NPO 法人 科学探検隊」理事の足立修一さんは小学生を対象に理科、工作に親しみを！と科学探検隊を発足しオリジナルの教材を使つての理科・工作教室を開催しています。対象は小学3年生～6年生、1教室につき最大30名、約90分の教室では工作だけでなく道具の使い方やルール、後片付けまでをトータルで教えています。作り方はネット検索して出来るようになって「物の考え方」は自ら鍛えなければ身につかないという考えに基づき、子どもたちと向き合っています。8月・12月にはシリウス、9月にはポラリスで教室の開催予定です。



第370回 3/31(火) 「サークル ありんこ」

「サークル ありんこ」岩崎沙也花さん(会長・高1)妻籠那由さん(高1)村田伸彦さん(中2)の出演。昭和56年度のジュニアリーダー夏期研修会を機に設立され今年9月に39年目を迎える「サークル ありんこ」現在、中・高・大学生、社会人など18名が所属し地域の子どもたちのお兄さん、お姉さんとして主に子ども会などのレクリエーションや大和市内のお祭りや成人式のお手伝いなど幅広く活動しています。

現在は新型コロナウィルス感染予防対応の為イベントは自粛中ですが、開催可能になったら7月の西口風鈴祭りを始め沢山のイベントに加え、自主研修会でスキルアップを図りたい！と語る3人。小さな子どもたちと遊んだり、大人の手伝いをしたり、沢山の人と出会う機会がありイベントの時は大変さを乗り越えて楽しくなってしまうほどだとか。サークルありんこでは「時間を忘れるくらい楽しい時間を共に過ごす」仲間を募集しています。

<4月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく！(再放送は当日の15:00と21:00です)

4/7(火)は「日本ケアトランポリン普及協会」の出演予定でしたが、新型コロナウィルス感染予防対策の為、出演延期になりました。

4/21(火)「ヤマト龍馬会」坂本龍馬の行動力と独創性に学び、助け合いの精神を身につけ個人と地域の発展の為に活動しています。



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第153号 発行日：2020年4月10日

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>  
<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>  
〒242-0018 大和市長見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788  
e-mail:yamato@ar.wakwak.com  
http://www.kyodounokiyoten.com/